

## 雨漏りを撲滅する、 こだわりの「全戸水掛け試験」。

雨漏りは屋根からというイメージがあるかもしれませんが、台風や暴風にあおられると、横から吹き込んだり下から吹き上がることもあり、屋根部分の施工に注意を払うだけでは、雨漏りは防げません。特に、京都のまちなかのように住宅が密集する地域では、隣家が迫り軒をつくれなことが多いため、さらに細心の注意が必要です。

ゼロホームでは、全新築住宅において、防水シートを施工した段階の壁全体に水掛け試験を実施。実際に目で見、手で触れ、雨水を浸入させる針の穴ほどのすき間もないか、隅々までチェックし、雨漏り撲滅に取り組んでいます。



外壁を貼る前に、必ず念入りの水掛け試験を実施。雨漏り軒数を公開するゼロホームの、最重要チェック項目です。

## 細部へのチェックと工夫、 徹底した情報共有。

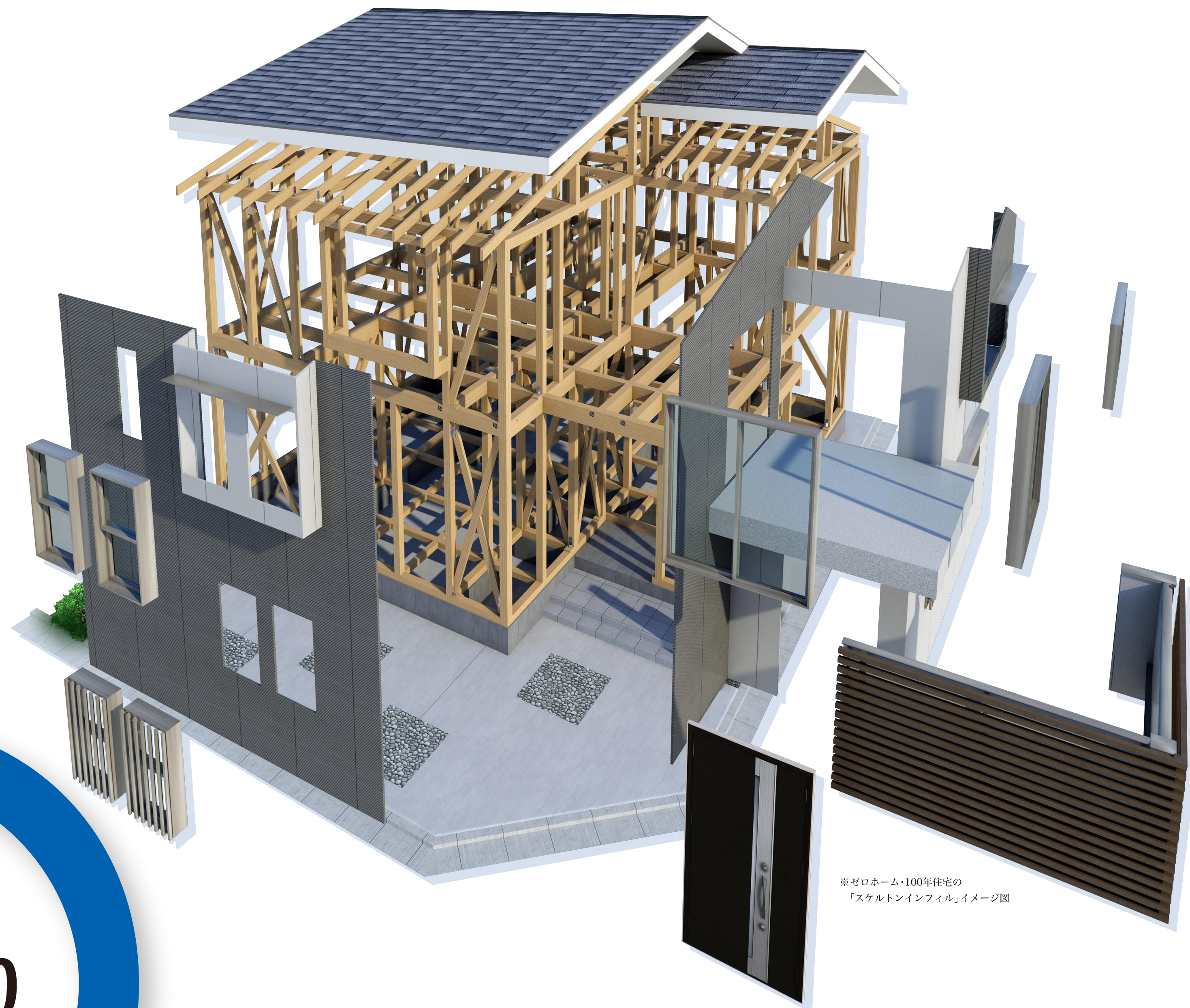
ゼロホームでは、すべての新築住宅が等しく高品質であるために、いくつもの工程で厳しいチェックを繰り返しています。現場監督が頻繁に現場へ出向き確認するのはもちろん、重要なポイントについては複数のスタッフでチェックを行うなど、ミスを未然に防ぐという強い気持ちで取り組んでいます。

また、ゼロホームでは、品質づくりに関わる部署や関係者ごとに、月に15回以上もの会議やミーティングを実施。現場での問題点と改善方法、新たな知識、クレーム事例などを徹底して共有し、スピーディに現場に反映する。これらのこだわりが、100年住宅を支えているのです。



協力業者の方々と定期的な会議を実施。技術的な議論はもちろん、情報共有を徹底して、品質を守ります。

“100年住宅の進化を支える、  
いくつものチェックと情報共有”



※ゼロホーム・100年住宅の  
「スケルトンインフィル」イメージ図

の  
こだわり。

## 「木材」を学び、深く理解する… 情熱と使命でつくる高品質住宅。

自分たちが手がける「木造住宅」をもっと理解したい。ゼロホームでは、各専門機関や専門家の方々と連携しながら、木材や林業についての研修を重ねています。スギの素材生産量日本一を誇る宮崎県にも毎年出向き、実際の建材や最先端の木材研究を直接目で見て話を聞くことで、自分たちの扱う木材についての理解を深め、知識を高めています。

木を学び、木の良さ、木造住宅の良さを伝えていくことが、ゼロホームの使命でもあります。私たちは、木を知り尽くしているからこそ、自信をもって高品質の木造住宅をお届けできるのです。



宮崎への木材研修には、技術部門だけでなく、営業や間接部門のスタッフも参加し、社員全員が木材を学んでいます。

